



# 大阪市立 東生野中学校

校長名 川田 浩二  
 所在地 〒544-0001 大阪市生野区新今里7-9-25  
 電話 06-6752-2885 FAX 06-6751-9590  
 URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j672483>



## 教育目標

- 人間尊重の教育を基盤とし、確かな学力に基づいた、自ら考え行動できる生徒を育成する。
- 違いを違いと認め合う個性尊重の集団を育てる。

## 標準服

有



## 令和4年度全国学力・学習状況調査

平均正答率 (%)	国語	数学	理科
	61	42	43

## 結果概要

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要  
 全国を100とした時の標準化得点について、国語96、数学96、理97であり、全てにおいて、全国平均を下回った。だが平均無回答率については、全てにおいて全国平均を上回っている。  
 ※分析から見えてきた成果・課題  
 教科に関する調査より  
 【国語】「書くこと」「話すこと・聞くこと」「読むこと」の全てにおいて課題がある。  
 ・今回の平均正答率が全国的に高く、本校においても平均正答率が60%を超えた。また、10問以上の正答者が47人であった。一方、短答式・記述式の設問に対しての無回答率が20%を上回った。  
 ・「自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す」や「表現の技法について理解する」などに課題がみられた。  
 ・「漢字」に関する問題については、おおむね理解することができている。  
 (成果) 学年を受け持った2年生より取り組んでいる。漢字学習プリントでの添削や、漢字小テストや単元終了後の確認テストの結果がみられたのではないかと考える。  
 (課題) 「表現技法について理解する」問題では「比喩」を問う問題であった。2年生の単元で、繰り返し学習した項目であったが、定着していなかった。  
 【数学】「数と式」「関数」「図形」「データの活用」の全てにおいて課題がある。  
 学習指導要領の領域のうち「数と式」と「図形」の平均正答率が大阪府と比べて10ポイント以上低くなっている。「数と式」が低い結果から基礎基本が定着していない生徒が少なくないことがわかる。また、「数と式」と「図形」の問題のうちでも証明問題の正答率が低いことが目立つ。  
 【理科】「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の全てにおいて課題がある。  
 今回の設問では、「エネルギー・地球を柱とする領域」の正答率が30%台であった。本校生徒にとって、普段から苦手意識が高い領域であり、「力(重力)」の問題では、正答率が6.1%と非常に低かった。選択式の問題でも、正しく説明されているものを選ぶや、組み合わせを考えるなど、一問一答形式でないものの正答率が低かった。さらに、正答数分布グラフを見ると、平均点あたりの7~10問がかなり伸び悩んでいることがわかる。7~10点の層を引き上げることができれば、学年としての平均点が向上することが見込まれる。

## 重点目標

- 基礎的な知識・技能の定着をはかり、自ら学び、創意工夫に努める生徒を育てる。学力向上のため、授業の形態・内容を改善する取組みを進める。
- 豊かな人権感覚を持った生徒を育成し、お互いを認め合う集団を育てるとともに、国際理解教育・外国人教育を推進する。
- 生徒理解を一層深め、基本的な生活集団を身につけ、自主的に行動できる生徒を育成する。
- 積極的な体験活動を通して、思いやりの心を育て、ともに支え励まし合える集団を育成する。

生徒質問紙調査より

「家で、自分で計画を立てて勉強している」(質問紙20)生徒の割合が全国と比べて低い。一方、「自分には、よいところがありますか」(質問紙7)、「将来の夢や目標を持っていますか」(質問紙9)の割合は、全国と比べて高い。

## 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

学力向上をしていくために、すべての教科の基礎である「読解力」を向上させていく方法がある。本校では、2022年度4月から、朝学活時に読売新聞社発行の「よむYOMUワークシート」を活用し、「読解力」向上を目指している。学力調査実施時は、4月ということもあり、その効果が出ていない。今年度末まで実施し、学力向上につなげていきたい。  
 【国語】定期テストにおいて毎回短作文を出題しているが、苦手意識が先行するの、無解答生徒が一定数存在している。学年の取り組みとして、毎日「3行日記」や新聞の読み取り学習を実施していることから、生徒の「書くこと」に対する抵抗感が無くなってきている。友達の記事を読んだり、自分の文章を読んでもらったり発表をする場を設けることで、自分の意見や考えを広げ、思考力や判断力が向上する指導を続けたい。  
 【数学】3年生は基礎クラス、標準クラス、発展クラスと完全習熟度別授業を行っている。その中でも基礎クラス、標準クラスは徹底して基礎基本を理解させる必要がある。そのために問題の選別、確認テストの実施を生徒の実情に合わせて行っていかねばならない。また、どのクラスも共通して対策しなければいけないのは証明問題である。理論的に順序だてて証明を書く指導を細かく丁寧に行っていく必要がある。  
 今回の結果をふまえて、習熟度別授業の在り方も検討していきたいと考える。  
 【理科】全体として、記述式の正答率が著しく低いのがいえる。これを改善するためには、「問題を読み解く力」と「考えを表現する力」を養っていく必要がある。授業の中でも、答えを導くことや答えを読み解くことを苦手とする生徒も少なくない。暗記するのではなく、実験や観察を通して解答を導くための方法を指導していく。

## 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

●種目別平均値 ※持久走と20mシャトルランのうち、20mシャトルランを選択して実施した。

性別	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点
男子	32.48	28.02	46.27	55.00	-	91.45	7.68	198.82	22.73	47.31
女子	26.79	21.97	46.28	47.90	-	58.21	8.59	169.03	12.61	51.81

## 結果概要

男子  
 体力合計点、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ、全種目(持久走を除く)において全国、大阪市平均を上回る結果となった。本校の生徒は運動への興味、関心が高く、アンケート質問では「運動やスポーツは好きですか」の肯定的回答が97.8%と全国、大阪市平均を約10%上回っている。  
 保健体育の授業では、①「運動量の確保」②「リーダーを中心にグループ活動」③「主体的な行動」の3点に重点を置いた授業作りを行っている。生徒は何事にも全力で取り組み、仲間と協力して楽しんで活動している。そのことを表す結果が、アンケート質問の「保健体育の授業を受けることは、あなたの生活を健康で明るいものにする1つの要素になっていますか」の肯定的回答95.7%に(全国・大阪市平均を上回っている)つながっている。  
 今後も運動やスポーツに親しむ資質や能力の育成を継続して取り組んでいきたい。

女子  
 体力合計点、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ、全種目(持久走を除く)において全国、大阪市平均を上回ることができた。1年生の時より準備運動の中で、毎回7種目トレーニングを行っており、その結果、平均値を上回れたと考えられる。しかし、その中でも大阪市との記録を比べると、上体起こしは+0.06しか上回ることができなかった。力の入れ方や、普段から回数だけではなく、時間を決め実施するなど意識させるポイントは多いと思われる。  
 「放課後や学校が休みの日に、部活動や地域スポーツ以外で、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることがありますか。」について、否定的な意見が5.2%と半数を超えており、全国平均値とは+6.3%、大阪市平均とは+1.1%上回っており、授業や部活動以外では体を動かす機会が少ないと考えられる。その中で、「保健体育の授業は楽しいですか。」については、肯定的な意見が79.3%となっており、今後は運動やスポーツに親しむ資質や能力の育成に取り組みつつ、授業内での運動量を増やしていきたい。

## 卒業後の進路

過去3年間で進学者数の多い学校を、国公立・私立等別に五十音順に記載しています。学校名の後ろに過去3年間の進学者数の累計を記載しています。

過去3年間の卒業者数	令和4年度	104	令和3年度	99	令和2年度	83
------------	-------	-----	-------	----	-------	----

### 【国公立】

旭 阿倍野(2) 生野(3) 市岡(2) 園芸 大阪わかば(勝山・桃谷)(6) 大手前 門真なみはや 北野 柴島(2) 高津(2) 港南造形(2) 島本 清水谷(2) 住吉(3) 成城(13) 泉北 天王寺 長吉 野崎 花園(4) 東住吉 東住吉総合(2) 枚岡樟風 布施(8) 布施工科(4) 松原 みどり 清朋 港(3) 八尾(5) 八尾北(3) 八尾翠翔 山本(2) 夕陽丘 生野工業 大阪ビジネスフロンティア(11) 工芸(2) 咲くやこの花 桜宮(3) 第二工芸 鶴見商業(2) 西 汎愛(3) 東(2) 都島工業(3) 淀商業

### 【私立および大阪府外校など】

藍野 アナン学園(4) あべの翔学(3) 上宮(5) 追手門学院大手前(2) 大阪 大阪学院大学(3) 大阪学芸(5) 大阪院光 大阪産業大学附属(8) 大阪商業大学(6) 大阪商業大学堺 大阪女学院 大阪信愛学院(3) 大阪成蹊女子(3) 大阪桐蔭(8) 大阪夕陽丘学園(6) 関西福祉科学大学(2) 近畿大学附属(5) 金剛会 興国(4) 好文学園女子(2) 金光大阪 金光藤蔭(10) 金光八尾 樟蔭(3) 常翔学園(4) 城南学園 昇陽 精華(2) 清風(3) 清明学院(2) 東海大学付属大阪仰星 同志社香里 浪速(5) 初芝立命館 阪南大学(3) 東大阪大学柏原 東大阪大学敬愛 プール学院(4) 桃山学院(2) 八洲学園 ルネサンス大阪 YMC学院 天理(3) 布施(定時制) 近畿大学附属島島高等学院福山校 初芝橋本 東福岡 明豊 石見智翠館(4) 明德義塾(3) 創志学園 和歌山南陵 桐蔭学園 大阪府立生野特別支援 着開 大阪情報コンピュータ高等専修 中央学院 大阪美容 京都廣学館 東甲陽園高等学校 東甲陽高等専修 飛鳥未来 和歌山県立南紀高等学校 ヒューマンキャンパス高等学校 パンタン高等学院 東大阪市立日新(3) 札幌山の手(5) 松山聖陸(2) 大阪教育大付属天王寺校舎 桜和(2)

## 校長先生のメッセージ

伝統ある我が母校、東生野中学校長に校長として勤めて7年目になりました。

私自身の持っている全ての力を出して、求められている子どもの学力の向上や心身の成長といった教育の過程を直視し、安心・安全で創意工夫された活気あふれた学校運営を私のリーダーシップの下、教職員一丸となって取り組んでいます。

常に新たな気持ちを持ち、東生野中学校の発展に尽力します。

いつも、生徒には「夢を持って」と言い続け、その「夢」が叶うように、生徒たちをサポートしてきました。「夢」を追い続けていけば、「夢は必ず叶う」と。

「夢の持てる学校」「夢を育てる学校」「夢が叶う学校」をめざします。

## 運営に関する計画

### ● 計画のエッセンス

- ・落ち着いた学校の状況を継続し、学習環境の充実、教員の授業力向上に努める。
- ・主体的・協同的な深い学びの実践のため、研修会に積極的に参加し校内の授業研究に活かす。
- ・学校元気アップ地域本部事業を活用し学校図書館の積極的な活用を図り、読書活動の充実に取り組む。生徒質問紙の結果をふまえ、家庭学習の充実を保護者に呼びかけていく。
- ・今年もボランティアによる講師を招き、HSL(東生野土曜塾)を開催し、学力の底上げを図っていく。
- ・学びサポーターや元気アップの協力の元、毎日放課後図書館を開館し、自学自習の勉強の場を提供する。

### ● 中期目標、年度目標等

#### 【安全・安心な教育の推進】

- ・令和5年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。
  - ・令和5年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
  - ・令和5年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。
- 〈学校の年度目標〉
- ・令和5年度末の学校教育アンケート「学校のきまり・規則を守っていますか」の肯定的な回答する生徒の割合を96.5%にする。

- ・令和5年度末の学校教育アンケート「将来の夢や目標を持っていますか」の肯定的な回答する生徒の割合を79%にする。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和5年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を43%以上にする。
  - ・令和5年度末の中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。
  - ・令和5年度末の大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を48%以上にする。
  - ・令和5年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を55%以上にする。
- 〈学校の年度目標〉
- ・令和5年度末の学校教育アンケート「朝食を毎日食べていますか」の肯定的な回答をする生徒の割合を95%にする。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和5年度末の学校教育アンケート「先生は、ICTの活用をしている。」の肯定的な回答をする生徒の割合を95%にする。
- ・令和5年度末の年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を50%以上にする。

## 「特色ある学習活動」および「家庭・地域等との連携」

### 特色ある学習活動

#### ● 夜間学級との交流

大阪市立中学校には4校の夜間学級が設置されており、本校はその1校です。夜間学級とは、戦争や貧困・病気・家庭の事情などにより、やむを得ず義務教育を修了することのできなかった人たちがや不登校等で当時中学校に行けなかった人たちのための公立中学校であり、本校では平均年齢70歳の中学生が昼間の中学生と同じ学校内の敷地で勉強しています。

夜間学級ですので勉強する時間は夜と昼とで違いますが、同じ、東生野中学の生徒として交流を持つことは、昼の生徒にとって勉強に対する思い・姿勢、これからの人間として生きていく上での情操感情の醸成に大変効果のあるものと思います。本校では、まず、1年生時を中心に交流を持ち、最後には夜間学級を訪問し、夜間学級の生徒さんと授業を共に受けることで、交流を図っています。



### 特色ある学習活動

#### ● 部活動の充実

部活動が盛んな学校は、規律の中にも活気のある学校となります。これは、生活指導面にも活かされ、校内はもとより校外でも近年大きな問題行動はありません。50年以上活動歴史のある伝統あるラグビー部、毎回大阪市大会において上位に名を連ねる男子バスケットボール部、ソフトテニス部、体操競技部、そして卓球部、女子バスケットボール部。また、文化部においてはコーラス部、イラスト・文芸部が活躍しています。



### 家庭・地域等との連携

#### ● 学校支援ボランティアの導入状況

学校元気アップ地域本部事業の一環としてコーディネーターを中心として、生徒の学力アップ等にも貢献してもらっています。毎日図書館を開館し、自学自習の勉強の場を提供するとともに、漢字検定対策学習会や漢字検定を学校をあげて取り組んでいます。また、ボランティアによる外部講師を招き、HSL(東生野土曜塾)を開催し英語と数学の授業を行い、塾形式の学習の場を確保して学力の底上げを図っている。